

# YouTube相続セミナー

## 長寿時代の財産管理のポイントはこれだ！

---

2020年8月

三菱UFJ信託銀行株式会社  
MUFG相続研究所

I .環境の変化を知る	.....	P.2
1. 平均寿命と健康寿命の推移	.....	P.3
2. 長寿時代の社会構造の変化	.....	P.4
II .対策:「3つの見える化」	.....	P.5
3. 元気なうちに機能低下に備えよう	.....	P.6~9
4. 長寿時代の資産承継	.....	P.10~14
5. 専門家を活用する意味	.....	P.15

---

# I .環境の変化を知る

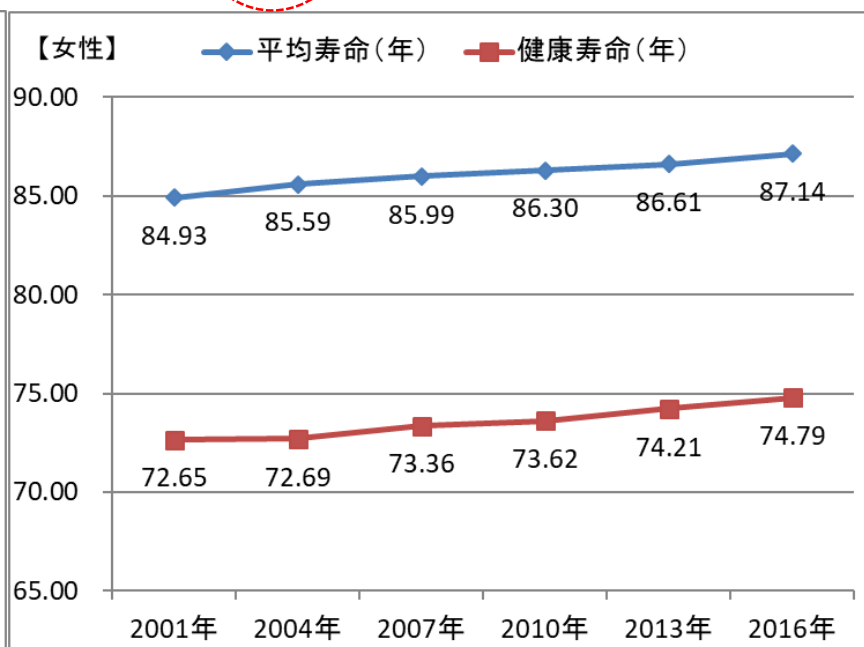
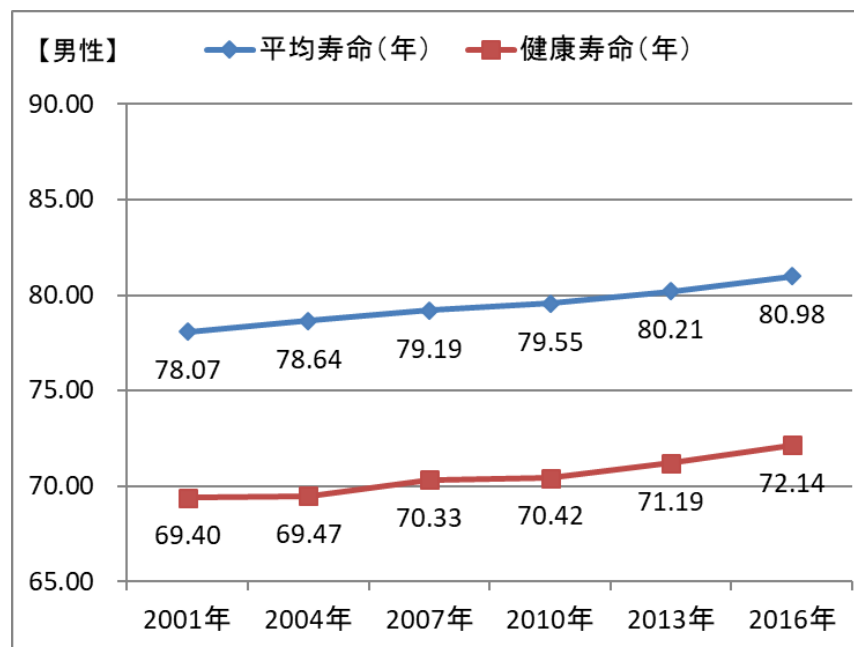
# 1. 平均寿命と健康寿命の推移

## 長寿化の状況

平均寿命※1、健康寿命※2とも年々伸長するも、その差は大きい

(※1:0歳の平均余命、※2:日常生活に制限のない期間)

2016年	平均寿命	健康寿命	平均寿命と健康寿命の差
男性	80.98歳	72.14歳	<b>8.84</b>
女性	87.14歳	74.79歳	<b>12.35</b>



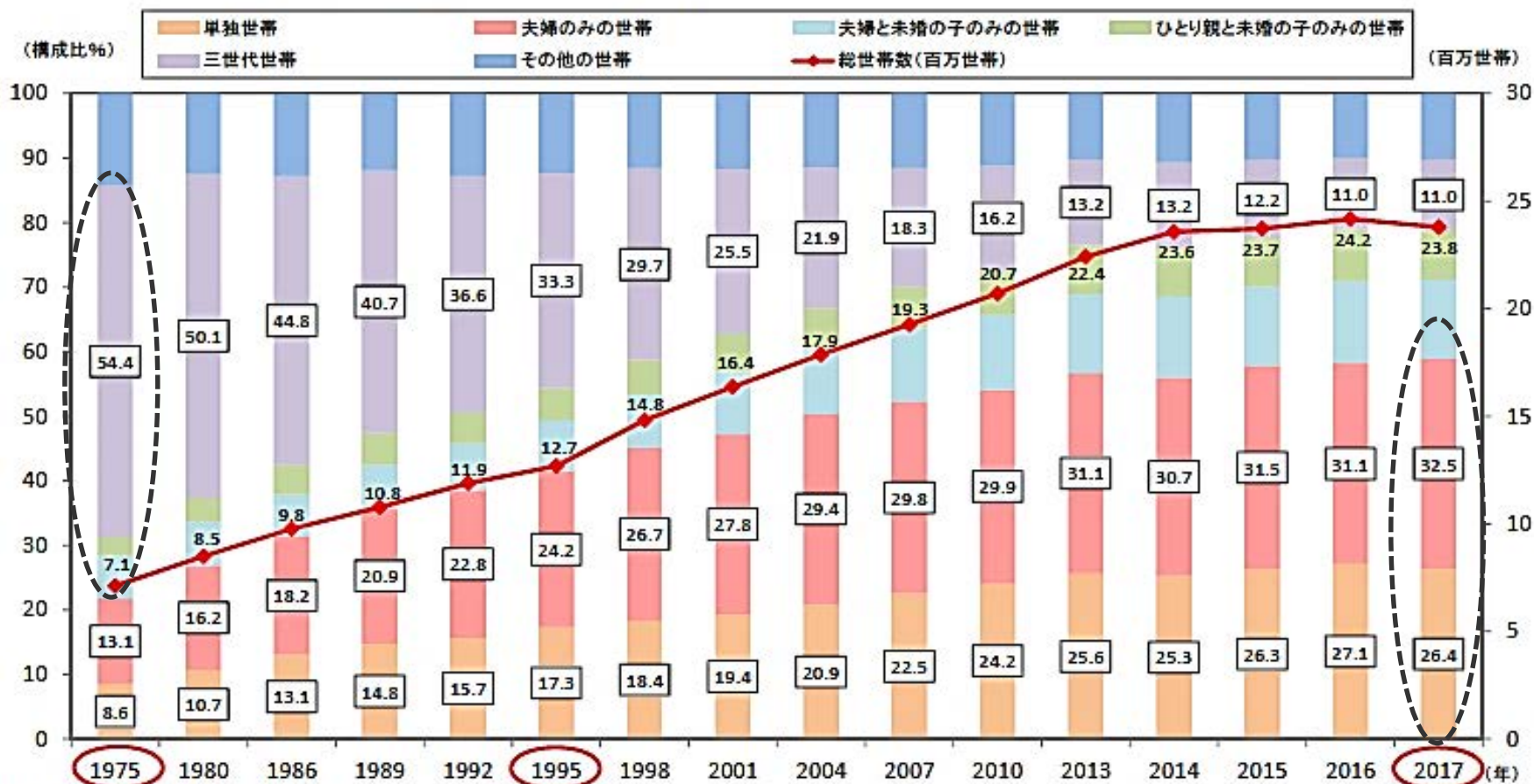
(厚生労働省「第11回健康日本21(第二次)推進専門委員会」資料をもとに作成)

## 2. 長寿時代の社会構造の変化

### 高齢者がいる世帯構成の推移

○ 高齢者がいる世帯構成は、1970年代に5割を超えていた「三世帯世帯」が1割まで大幅に減少。「単独世帯」「夫婦のみの世帯」がそれぞれ3割前後まで増加。また、未婚の子との世帯も増加。

- ・ 三世帯世帯 【1975年→2017年】:54.4%→11.0%(▲43.4%ポイント)
- ・ 単独世帯 【1975年→2017年】: 8.6%→26.4%(+17.8%ポイント)
- ・ 夫婦のみの世帯【1975年→2017年】:13.1%→32.5%(+19.4%ポイント)



(出所)厚生労働省「国民生活基礎調査」

(注)平成7年の数値は兵庫県、平成28年の数値は熊本県を除いたものである。

---

## II.対策:「3つの見える化」

### 3. 元気なうちに機能低下に備えよう

---

#### ステップ1 「財産」の見える化

元気なうちに身体能力・認知機能の低下に備える

➤ 自分のために（資産の断捨離や整理）

- ・不要預貯金口座の整理（少額預金や転勤時作成の遠地・海外口座など）
  - ・インターネットバンキング・オンライン証券の利用やパスワード管理
  - ・貴金属や骨董品の整理（鑑定評価など）
  - ・貸金庫の中身を整理（不要なものは廃棄）
- など

➤ 家族のために（エンディングノートなどに記録を残す）

- ・利用金融機関（特にネットバンクなど）
  - ・不動産の明確化（共有地の存在有無、隣地や山林の境界問題など）
  - ・〇〇ペイのようなキャッシュレス資産の存在の明確化
  - ・貴金属や骨董品（特に高価なもの）
  - ・貸金庫の中身（特に遺言など）
- など

### 3. 元気なうちに機能低下に備えよう

#### ステップ2 認知機能低下時の「財産管理」の見える化

- 自分の考えを家族に伝えることで、明確になる
  - ・ 認知機能低下時に自分の財産に関して、他者に依頼したいことを検討・整理しておく

#### 例) 財産の考え方

現状  
維持



積極  
対応

- ① おもに生活に関する金銭入出金管理
- ② リスクを抑えた資金運用・管理
- ③ 原則、現状を維持していくための賃貸不動産の修繕・管理
- ④ 原則、生活に必要な場合に限った自宅・賃貸物件等の資産売却
- ⑤ 家族内で許容されている範囲での金銭入出金管理
- ⑥ 多少リスクを取っても積極的な資産運用
- ⑦ 資産を増やすような積極的な不動産処分や有効活用

- ・ 目的に応じた制度の利用を検討する



### 3. 元気なうちに機能低下に備えよう

#### ステップ3 想いの見える化

伝えたいこと	気持ちの残し方
<ul style="list-style-type: none"><li>①介護のあり方 (在宅、施設入所など)</li><li>②残された配偶者への配慮</li><li>③連絡してほしい友人</li><li>④葬儀・埋葬の方法</li><li>⑤〇〇家として継承してほしいこと</li><li>⑥財産分与に関すること</li><li>⑦ペットのこと</li></ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>①承継するにあたっての想いの承継<ul style="list-style-type: none"><li>・エンディングノート</li><li>・遺言(自筆証書遺言、公正証書遺言)</li></ul></li><li>②機能商品の利用による承継<ul style="list-style-type: none"><li>・保険商品、遺言代用信託、家族信託 代理出金機能付信託</li><li>・任意後見制度と財産管理委任契約</li><li>・遺言(自筆証書遺言、公正証書遺言)</li></ul></li></ul>

伝えたい内容(残る人への思い・財産配分など)、時期(認知機能低下時、死亡後など)により利用する商品が決まってくることを理解する

### 3. 元気なうちに機能低下に備えよう

- 判断能力や身体機能の低下に備え、財産管理において様々な制度がある

各種制度のマトリックス

		はつらつ期	心配発生期	家族心配増大期	家族対処期	
判断能力		○	○	△	×	相続発生 ▲
身体機能		○	△	△	△	
財産	<b>財産管理</b> 本人の財産を維持すること、管理すること	小 ↑ 管理 自由度 ↓ 大	財産管理等委任契約		法定後見制度	ステップ 2
	<b>積極運用・処分</b> 積極的な投資・運用、合理的な理由のある換金処分、本人財産の減少となる行為（生前贈与）等のこと		任意後見制度			
	<b>財産承継のための準備</b> 財産明細や分配分配内容の理由		エンディングノートや備忘録（法的効果なし）		遺言（法的効果あり）	
		信託機能の活用 ・代理出金機能付信託 ・家族信託 など ・遺言代用信託				

「MUFG相続研究所にて作成」

## 4. 長寿時代の資産承継(エンディングノート・遺言の比較)

### ▶エンディングノートと遺言の違い

	記載項目	遺言	エンディングノート
①	家系、生い立ち	×	○
②	介護医療への希望	×	○
③	葬儀・お墓について	×	○
④	財産内容を明確にする	○	○
⑤	財産配分を決められる	○	×
⑥	遺産分割協議が不要	○	×
⑦	第三者への分与	○	×
⑧	感謝の気持ち	○	○
⑨	遺言執行者の指定	○	×
⑩	婚外子の認知	○	×

### ▶使い分けの検討

- ・法的効果を求めるものは遺言が向いている
- ・自分の希望などはエンディングノートを活用する

## 4. 長寿時代の資産承継(遺言の積極活用)

遺言書には、どのような特徴があるかを知る

### ➤ 相続の特徴を知る

- ・突然やってくる
- ・手続きに期限があるもの(死亡届、年金関連手続き、相続放棄、相続税納税など)
- ・手続き方法が違うさまざまな財産を承継する(預貯金、有価証券、不動産など)
- ・めったにしない不慣れな手続き
- ・理屈より情(身内だからこそ、財産配分を決める時など)

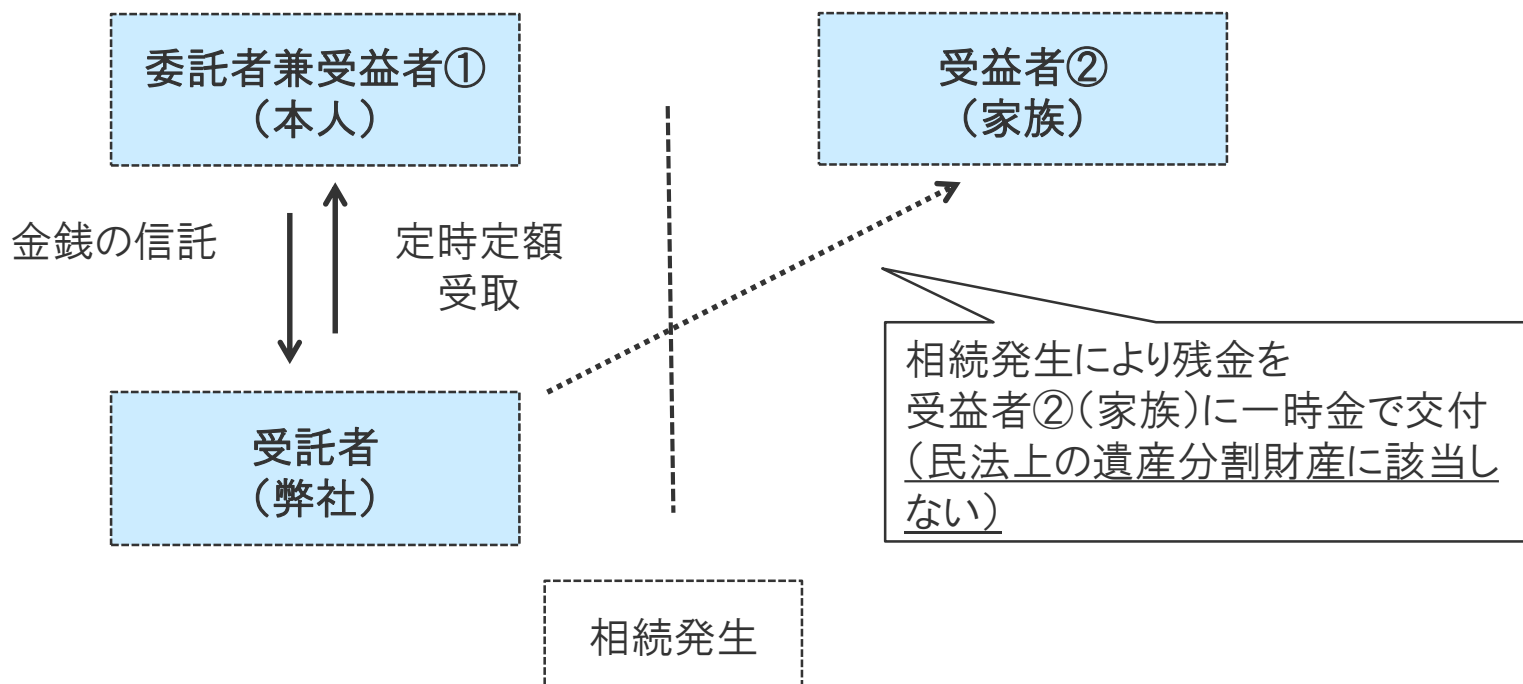
### ➤ 遺言でできること(法的効果がある)

①	財産の処分	第三者への遺贈、寄付、信託の設定
②	相続	相続割合の指定、分割方法の指定、遺言執行者の指定、遺産分割の禁止など
③	親族関係	認知、相続人の廃除

## 4. 長寿時代の資産承継(遺言代用信託商品)

### ➤ 遺言代用信託商品の活用

- ・被相続人(委託者兼受益者)が生前に弊社(受託者)と信託契約を設定  
例えば (生前は自分で使い、相続時に家族に一時金で渡す契約の場合)



※受益者に年金のように分割して渡すこともできる

## 4. 長寿時代の資産承継(生前に活用する信託商品)

### 人生100年時代における新しい資金管理の仕組み

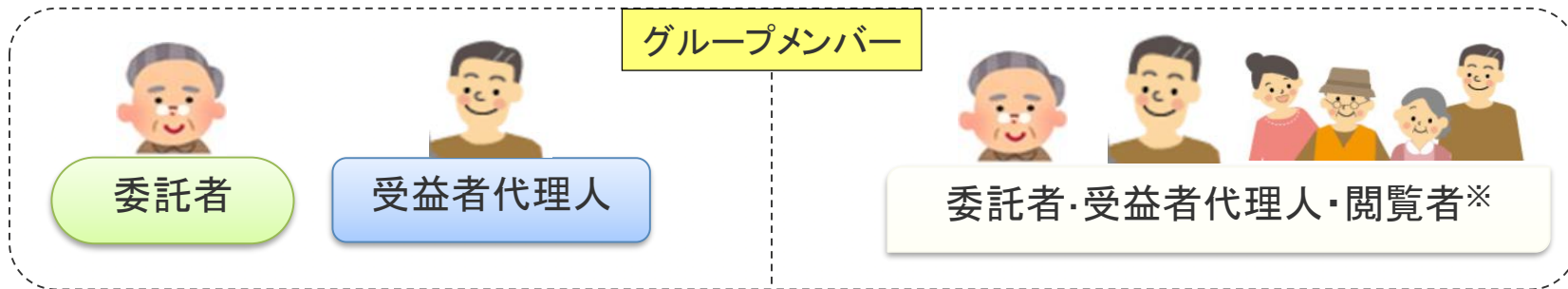
- 大事ななのは、自分のお金を「守る(保護)」だけでなく、自分らしくちゃんと「使える」こと
  - (1) 本人が自分の意向を汲んでくれる代理人を予め選ぶことができる
  - (2) 代理人は、本人の判断能力が低下しても、資金の引き出しを継続できる  
(判断能力低下時の口座凍結防止)
  - (3) 代理人以外の家族にも支出状況を「見える化」することで、代理人も安心して必要に応じて使える(不正防止にも)

# 4. 長寿時代の資産承継(生前に活用する信託商品)

『つかえて安心』のイメージ図 (ビジネスモデル特許出願中)



代理出金機能付信託



委託者が認知症になっても受益者代理人  
が払出可

※閲覧者はアプリで  
いつでも招待可能

①払出請求

- ✓ 領収書等の撮影
- ✓ 払出内容入力



③確認・払出し

- 約5日間据置後、指定口座へ払出
- 入出金履歴を記録

②通知、閲覧

- 払出請求、出金を通知
- 払出請求、入出金履歴の閲覧・ダウンロード

・本商品は、手数料等費用がかかります

## 5. 専門家を活用する意味

### 【長寿時代に向けた資産承継の考え方のポイント】

- ・家族に想いを如何に伝えておくか(家族対話が、より重要な時代に)
- ・時代に合わせた制度の利用を家族や専門家を活用し、補うことが重要
- ・健康寿命も踏まえ早めに検討を開始しましょう

例えば

専門家の活用をすることで

- ①税制の変化(時代に合った商品の活用)
  - ②民法の改正(配偶者居住権などの活用)
  - ③不動産の将来に向けた活用方法の検討
  - ④目的に沿って計画的な贈与の実施
  - ⑤信託商品や保険の活用
  - ⑥想いを伝えるための遺言の活用
- などの具体的な提案に基づき検討できる



## ご清聴ありがとうございました

- ・本資料は、講演会用に作成されたもので、保険や投資信託等の募集や勧誘を目的として作成したものではありません。
- ・本資料は考え方の概略をお示しするものであり数値はあくまで概算です。
- ・本資料は2020年7月1日現在の法令・税制等に基づいておおよその概要を説明しておりますが、将来変更される可能性があります。また、法令の詳細や税務申告にあたっては、弁護士やお近くの税務署や税理士などにご相談ください。
- ・本資料は、信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、資料に記述した分析は一定の前提に基づくものであり、その正確性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を予測するものではありません。
- ・本資料の内容に関するあらゆる損失に対して三菱UFJ信託銀行は責任を負いません。なお、本資料の無断複製、複写、転送等をご遠慮ください。

\*「MUFG相続研究所」は、三菱UFJ信託銀行が資産管理・資産承継に関する調査・研究・レポート作成等の業務を対外的に行う際の呼称です。